

形 歯 発 第 4 4 6 号
令 和 3 年 1 月 2 5 日

関 係 団 体 長 各 位
医 療 関 係 団 体 長

一般社団法人 山形県歯科医師会
会 長 富 田 滋

令和2年度在宅歯科医療連携室整備事業研修会（Web）の開催について

平素本会の事業運営につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

山形県委託事業として、在宅医療を含めた地域包括ケアシステム構築における歯科保健医療を推進することを目的とした標記 Web 研修会を、下記日程のとおり開催しますので、是非ご参加いただきたく、関係者等にご周知下さるようご案内いたします。

受講希望の方は、別紙受講申し込み方法をご覧の上、下記 QR コード、または山形県歯科医師会ホームページ (<http://www.keishi.org>) より 2月25日（木） までお申し込み下さい。2月26日以降に、「Zoom ウェビナー」の招待状をご登録いただいたメールアドレスにお送りしますので、ソフトのインストールと受講登録（氏名の登録は本人名義）をお願いいたします。

また、研修会終了後にご登録いただいたメールアドレスに「受講者アンケート」の入力フォームをお送りいたしますので、ご入力の上、送信くださるようお願いいたします。

日 時 令和3年3月6日（土）14：00～17：00

開 催 形 式 Web 配信（Zoom ウェビナー）会館での受講は出来ません。

演 題 「食べること 生きること ～最期まで口から食べられる街づくり～」

講 師 ふれあい歯科ごとう 院長 五 島 朋 幸 先生（東京都開業）

対 象 者 山形県歯科医師会会員・スタッフ、山形県内医療・介護・福祉・保健関係者・ご家族 等



山形県歯科医師会 在宅歯科医療連携室（飯野）
〒990-0031 山形市十日町二丁目4-35
TEL 023-632-8020・FAX 023-631-7477

令和2年度 在宅歯科医療連携室整備事業研修会日程

日 時 令和3年3月6日(土) 14:00～17:00

開催形式 Web配信 (Zoom ウェビナー)

| | | |
|-------|---------------------------------------|------|
| | (司会進行) 在宅歯科医療連携室 | 飯野美紗 |
| | 趣旨説明・講師紹介 山形県歯科医師会常務理事 | 安藤栄吾 |
| 14:00 | [講演] | |
| | 演題 「食ること 生きること ～最期まで口から食べられる街づくり～」 | |
| | 講師 ふれあい歯科ごとう 院長 五島朋幸 先生 | |
| 17:00 | 質疑応答 | |

Zoom ウェビナー（WEB 研修会）受講マニュアル

山形県歯科医師会

準備編

事前にインストールすることで、Zoom ウェビナーへの参加がスムーズになります。パソコンまたはタブレットへ Zoom のインストールをお願いいたします。タブレットから参加される方は、アプリケーションのインストールが必須です。

【パソコンの場合】

①ダウンロードページを開く

URL (<https://zoom.us/download>) のダウンロードページにアクセスしてください。

②ダウンロードボタンをクリックする

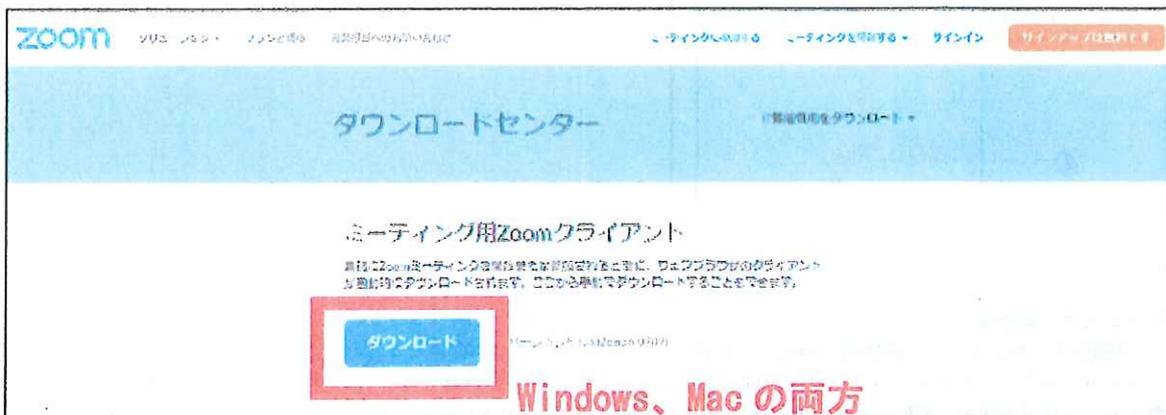
【画像 1】の画面が表示されますのでダウンロードボタンをクリックしてください。

③各手順に従ってインストールする

④事務局からのメールを確認する

事務局から「連携室研修会 3 月 6 日開催 Zoom 招待状」というタイトルのメール内の“このウェビナーに事前登録する：参加 URL（例 <https://us02web.zoom.us/webinar/〇〇~>）が送られていることを確認してください。

画像 1（パソコンの場合）



【タブレットの場合】

①アプリケーションをダウンロードする

i OS の場合は App Store で、android の場合は Google play で「ZOOM cloud meeting」を検索し、インストールしてください。

②事務局からのメールを確認する

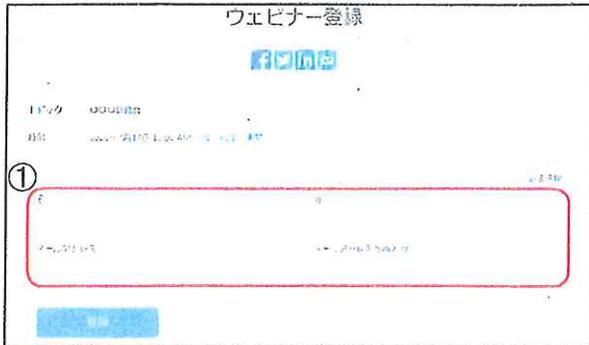
事務局から「連携室研修会 3 月 6 日開催 Zoom 招待状」というタイトルのメール内の“このウェビナーに事前登録する：参加 URL（例 <https://us02web.zoom.us/webinar/〇〇~>）が送られていることを確認してください。

参加編

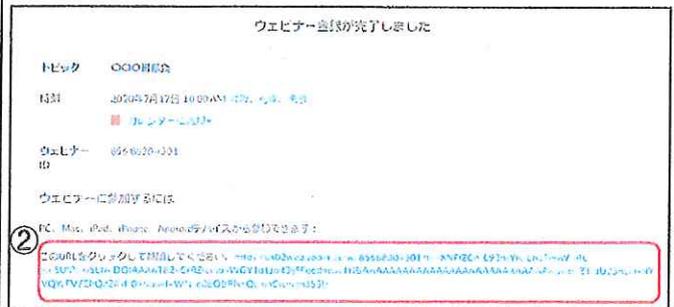
1. URL にアクセスし、各種情報を登録する

事務局から送られてきた URL にアクセスすると web ページが起動し【画像 2】が表示されますので、①名性（日本語）とメールアドレスを入力して登録ボタンをクリックしてください。【画像 3】の登録完了画面が表示されたら②URL をクリックして参加してください。

画像 2



画像 3



2. アプリケーションで開く

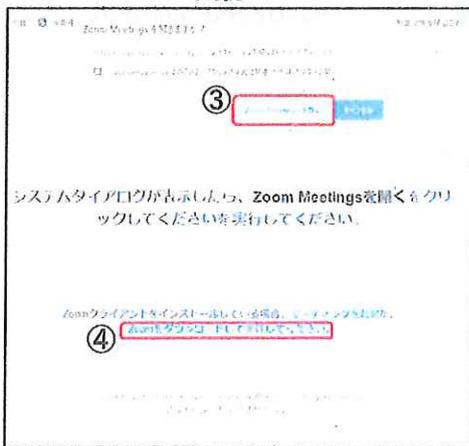
【画像 4】の画面に切り替わり③「Zoom Meetings を開く」をクリックしてください。

(※事前にアプリケーションをインストールしていなかった場合、ここで自動でダウンロードとインストールが実行されます。自動で開始されない場合、④「Zoom をダウンロードして実行」をクリックしてください。)

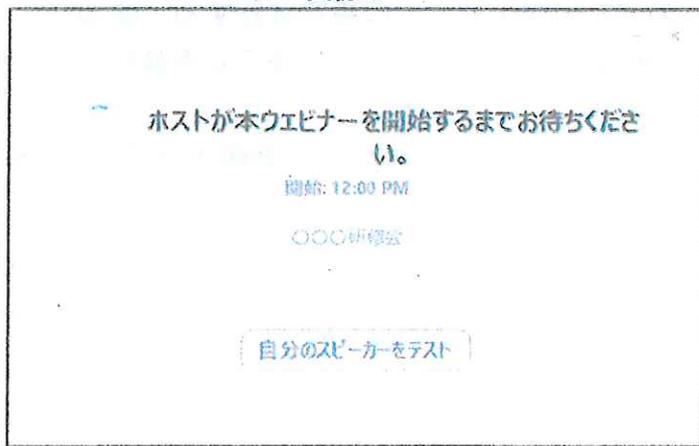
3. 待機画面

開始時間前の場合、【画像 5】のように開始時間とウェビナーのタイトルが表示されます。以上で WEB 研修会への参加準備は完了になります。ホストがウェビナーを開始するまでお待ちください。

画像 4



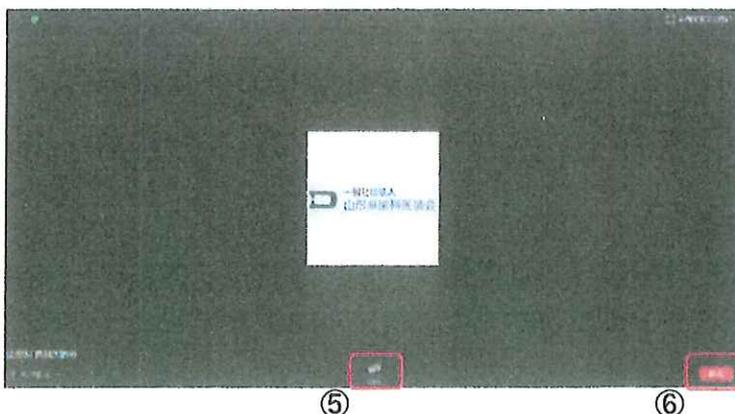
画像 5



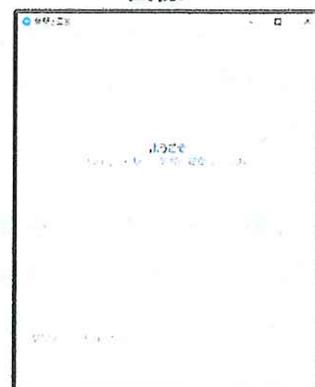
4. ウェビナー開始後

【画像 6】のように WEB 研修会の画面に切り替わり、画面中央下に⑤「Q & A」の項目が表示されます。質疑応答の際は、「Q & A」をクリックすると【画像 7】の画面が表示されますので、質問事項を入力し、送信することで発表者に対して質問することができます。WEB 研修会終了後は【画像 6】の右下の⑥「退出」ボタンをクリックしてください。以上で WEB 研修会は終了となります。

画像 6



画像 7



食べること 生きること～最期まで口から食べられる街づくり～

ふれあい歯科ごとう 院長 五島 朋幸

【抄録】

胃ろう大国日本。現代日本社会には 40 万人もの胃ろう造設者がいると言われていています。これは日本の医療水準の高さを表すとともに「口から食べることを粗末にしていることをも表します。このような社会でわれわれにできることはないのでしょうか。

胃ろう造設の大きな契機は誤嚥性肺炎。現在、日本人死因の第 3 位になった肺炎。肺炎で亡くなる方の 90% 以上は 65 歳以上の高齢者。高齢者の肺炎のほとんどが誤嚥性肺炎であることを考える、今、日本で起こっていることは「誤嚥性肺炎で亡くなる高齢者が急増している」ということなのです。この誤嚥性肺炎予防のためのケアとして口腔ケアがあります。さて、口腔ケアは正しく理解され、実践されているのでしょうか。…残念ながら全く理解されておらず、実践もされていません。だとすれば、口腔ケアを正しく理解することこそ胃ろう大国から抜け出すキーになるでしょう。

口腔ケアは決して難しいことではありません。何が難しくしているのか。それは口腔ケアの目的を見誤っているのです。口腔ケアの目的は「口をきれいにすること」ではありません。「食べられる口づくり」が真の目的であり、その過程で誤嚥性肺炎が予防されるのです。

さて、食支援とは「本人、家族に口から食べたいという希望がある、もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対し、適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的としてリスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うこと」です。新宿では、2009 年、地域食支援の普及、実践を目的として新宿食支援研究会を発足しました。

地域で食支援の必要な人は高齢者の約 2 割です。これだけの対象者に対し、専門職のケアだけでは十分ではありません。市民、専門職も含めて、何か食に異常があればそれを見つける人 (M)、適切な人につなぐ人 (T)、そして結果を出す人 (K) を地域に無限に作らなければなりません。さらに、食の大切さを社会に広めていくこと (H) も重要です。「見つける、つなぐ、結果を出す、そして広める」(MTK&H)こそが街づくりです。

私たちが考える最期まで口から食べられる街づくりとは、①外出、外食できるコミュニティづくり、②食支援専門職のネットワークづくり、③MTK&H のシステムづくりです。

現在、毎年 9 月、新宿食支援研究会主催で「最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会 (通称タベマチフォーラム)」を開催しています。新宿だけではなく、日本全国が「最期まで口から食べられる街」になることです。

専門職のネットワークだけで地域は変わりません。介護現場が、いや、社会が食の大切さに気付かなければこの国が最期まで口から食べられる国にはならないのです。

【略歴】

1991年日本歯科大学歯学部卒
1993年日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第1講座助手
1997年訪問歯科診療に取り組み始める
2003年ふれあい歯科ごとう代表
博士（歯学）

日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科臨床准教授
日本歯科大学東京短期大学歯科衛生士科講師
東京医科歯科大学非常勤講師
慶応義塾大学非常勤講師
新宿食支援研究会代表

1997年よりラジオ番組「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」（全国12局で放送）パーソナリティーを務める。2017年より「ドクターごとうの食べるlabo～たべらぼ～」(FM調布) パーソナリティーを務める。

【著者】

「訪問歯科ドクターごとう1: 歯医者が家にやって来る!？」(大隅書店)、「口腔ケア〇と×」(中央法規)、「愛は自転車に乗って 歯医者とスルメと情熱と」(大隅書店)、「食べること 生きること ～介護予防と口腔ケア～」(北隆館) (監修・著)、「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアと腸管免疫の重要性」(オーラルケア) など